

2017年度 对外交流委員会 活動報告



2018年3月13日
中国IPG 对外交流委員会
小澤 潤 キヤノン (中国)

1. 委員会メンバー

(敬称略)



No.	会社名	IIPPF	アリタオ	外部組織
1	キヤノン（中国）有限公司	○	○	○
2	ソニー（中国）有限公司			○
3	マツダ（中国）企業管理有限公司	◎		
4	オリンパス(北京)銷售服務有限公司	○		○
5	日産（中国）投資有限公司	○		
6	尼康映像儀器銷售（中国）有限公司		◎	
7			○	
8	豊田汽車（中国）投資有限公司	○		
9	本田技研工業（中国）投資有限公司	○		
10		○		
11	兄弟（中国）商業有限公司		○	
12			○	

2. 主な活動内容（概要）

IIPPF連携（7名）

北京実務ミッション

1. SIPO
 2. 税関総署
 3. 最高人民法院
 4. AQSIQ
 5. 版權局
- 建議検討、同行

<会合>

1. 7/19 (水)
2. 8/1 (火)
3. 9/12 (火)

ミッション

11/26-30

広東ミッション

1. IPO
2. TSB
3. FDA
4. AIC
5. 開発区IPO

<会合>

1. 8/1 (火)
2. 11/28 (火)

ミッション

1/14-16

アハバ・タハバ連携（8名）

アンケート実施

12月



意見交換会

3/8

<会合>

1. 7/24 (月)
2. 11/13 (月)
3. 12/15 (金)

その他（3名）

CAASA

<会合>

1. 8/16 (金)
 2. 11/30 (木)
- ⇒ 関心事項共有

中国科学院

1. 10/10 (火)
- ⇒ 意見交換

税関会合@義烏

1. 4/21 (金)
- ⇒ IPG活動紹介

国務院発展研究中心

1. 1/31 (水)
- ⇒ 意見交換

2. 主な活動内容（IIPPF連携 1/2）

IIPPF北京実務ミッション

訪問日	訪問機関等	主な意見交換テーマ
11/27	最高人民法院	<ul style="list-style-type: none">・知財法院の拡大設置、知財上訴法院の設置、及び技術調査官制度拡充・商標権侵害における法廷賠償額算定方法の明確化
11/27	国家知識産権局	<ul style="list-style-type: none">・実用新案出願及び意匠出願の新規性サーチの徹底・製造設備や製造方法に関する専利権侵害の立証・罰金制度の適用
11/28	海関総署	<ul style="list-style-type: none">・権利者から海関に対する情報提供・海関の侵害品差止めに関する情報の開示・侵害品輸出を抑止するための重罰化・「静風行動」の継続・知識産権海関保護系統及び知識産権海関保護条例の確認
11/29	国家版權局	<ul style="list-style-type: none">・取締り等への感謝と更なる取締りの強化のお願い・中国各地の版權局での鑑定サービスの提供・2007年4月5日公布の司法解釈(2)第1条等における数量基準の適用方法についての確認
12/1	国家質量監督檢驗檢疫總局	(表敬訪問)

2. 主な活動内容（IIPPF連携 2/2）

IIPPF広東実務ミッション

日付	訪問機関等	主な意見交換テーマ
1/15	広州市開発区IPO	<ul style="list-style-type: none">・IPOの具体的な活動の紹介・IPO活動紹介・専利処と版權処の機能と分担状況・その他
1/16	<p>＜合同交流会＞</p> 広東省知識産権局 広東省工商行政管理局 広東省質量技術監督局 広東省食品薬品监督管理局	<ul style="list-style-type: none">・要監視市場情報の提供（IIPPF）・社会満足度80%以上を達成するための具体的施策・行政法執行の基準統一について（IPO）・展示会における知財保護弁法に基づく執行状況・模倣劣悪商品取締条例に基づく執行状況（AIC）・模倣品摘発責任細則通知に基づく活動について（TSB）・食品安全条例に基づくISP管理状況について （食品薬品监督管理局）

2. 主な活動内容（アリババGr.連携）

IPG会員向けアンケート

内容：現状の問題点について、利用プラットフォーム別に意見徴収

目的：「権利者間格差による意見のばらつき」という課題を、4つの異なるレベルに分類することで解決し、アリババGr.との意見交換の効率化と論点を明確化を目指す。

- ① 阿里巴巴知识产权保护平台
- ② 诚信投诉机制
- ③ 权利人共建机制
- ④ 阿里巴巴打假联盟

アリババGr.との意見交換

日時：3月8日（木）

場所：アリババGr.本社@杭州

- テーマ：**
- ① IPG会員向けアンケート結果の共有
 - ② 定期交流会の頻度を上げる提案
 - ③ 「悪意の投訴人」の最近動向と定義づけについて

CAASA

2016年度のCAASA-JPとの交流を受けて、当該組織の更なる理解のため、本部との交流を試みた。

- 8/16 : CAASA本部への訪問と意見交換会
11/30 : 意見交換会を実施（IIPPF訪中団も参加）
テーマ : ①小口郵便ルートを利用した模倣品輸出対策
②ECサイト管理会社に対する管理強化
③実案/意匠出願の新規性調査の実態
④アモイ知財権法執行協力支援センターについて

ご清聴ありがとうございました。